

ごあいさつ

皆様には、日頃より愛知県信用農業協同組合連合会（愛称「JA愛知信連」）に格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

本年も皆様に当会の経営方針、業務内容、令和5年度の業績等をご紹介しますために、本誌を作成いたしました。ご一読いただき、当会に対するご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

当会は、昭和23年の設立以来、農業専門金融機関・地域金融機関として、県下のJAが食の安全と安心を地域の皆様にお届けすることを金融面からサポートするとともに、利用者の皆様の生活向上に資する幅広い金融サービスを提供することにより、地域農業と地域社会の豊かな未来の創造に取り組んでまいりました。

さて日本経済は、生産・輸出の増加基調に伴う活発な設備投資やコロナ禍からの経済活動の正常化が進展したものの、物価上昇による節約志向の高まりもあり、緩やかな回復基調となっています。

また、金融業界におきましては、新NISA制度の導入により、貯蓄から投資への流れが一層強まり、多くの金融機関が顧客の資産形成、資産運用にかかわるビジネスを強化・拡大するとともに、ネット銀行を含めた金融機関間の顧客獲得競争の動きが強まっています。

一方、農業の分野におきましては、飼・肥料、燃油等農業資材の国際価格高騰や円安の進行などその経営環境は引き続き厳しい状況であることから、系統金融機関として金融仲介機能を十全に発揮し、JA系統ならではの付加価値を提供していくことの重要性が一層高まっています。

当会は、こうした情勢認識を踏まえ、中期計画（令和5年度～令和6年度）に基づき、JAごとの特性に応じた実効性の高いJAサポートに取り組むとともに、県下JA系統信用事業（通称「JAバンクあいち」）ならではの価値提供と持続可能な収益モデルの構築に向け、役職員が一丸となり「JAバンクあいち」の発展に努めてまいります。

皆様におかれましては、本誌等を通じて当会に対するご理解を深めていただきますとともに、より一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年7月



経営管理委員会会長 齋藤 種治
代表理事理事長 磯村 幹夫